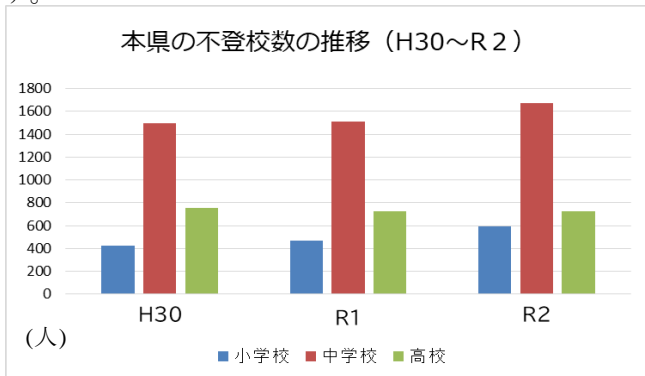


児童生徒にとって魅力ある学校づくり（不登校対策）を目指して

義務教育課

■ 本県の不登校の状況

令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（鹿児島県公立学校分）の不登校の児童生徒数の状況は、前年度より全体で289人増加し、2,989人になっています。特に、小・中学生の不登校児童生徒が大幅に増加しています。



■ 魅力ある学校づくりとは

これまでの不登校対策は、不登校状態にある児童生徒への支援が中心になっていましたが、この魅力ある学校づくりは、全ての児童生徒を対象に不登校の「未然防止」に焦点をあて、新たな不登校児童生徒を生まない予防的、組織的な取組を行い、児童生徒にとって学校に通うことが楽しくなる学校づくりを目指すものです。

■ 継続と新規の不登校児童生徒を踏まえた対応

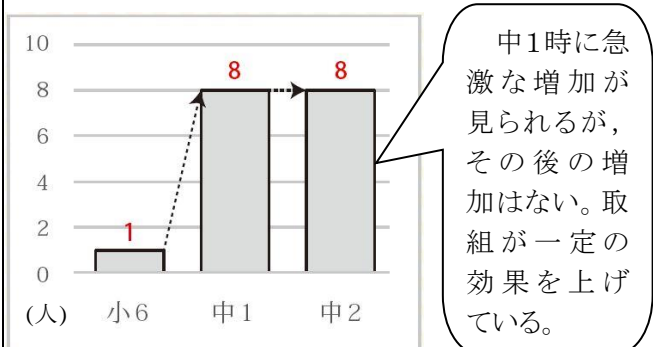
【継続数】

前年度から継続し、不登校状態にある数

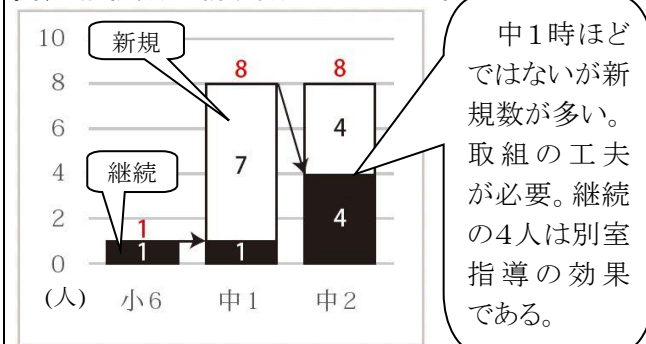
【新規数】

当該年度に新たに不登校になった数

例) 継続数と新規数で分けない分析



例) 継続数と新規数で分けた分析



※ 継続数と新規数に分けて分析すると、これまで分からなかったことが見えてきます。

■ 新規の児童生徒への対応

新たな不登校児童生徒を生み出さないためには、不登校にならないための未然防止が大切です。そのためには、児童生徒にとって、「居場所づくり」と「絆づくり」が大切になってきます。

【居場所づくり】

教職員が主導し、学級や学校を全ての児童生徒にとって落ち着ける場所にします。

例：授業、学級活動、学校行事、環境整備等

【絆づくり】

居場所づくりを基盤に、日々の授業や行事等において、全ての児童生徒が活躍し、互いが認め合える場面を実現します。（児童生徒が主体、教職員の役割は場と機会の設定）

例：授業や各活動での交流

■ 継続する児童生徒への対応

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携し、「チーム学校」で組織として対応し、個別に社会的自立に向けた支援を行います。

■ 魅力ある学校づくり研究協力校・地区

<国立教育政策研究所指定地区>

●霧島市（R2～R3）

<県教育委員会研究協力校>

●中種子町立中種子中学校（R2～R3）

●薩摩川内市立川内北中学校（R3～R4）